

「今日は3つ出るよ」

いつものように、会話が聞こえてきます。

北海道北斗市。写真右は、

家族で米づくりに勤しむ相馬和子さん。

毎年秋になると、新米を楽しみに待つ

お客さまへの発送が始まります。

最近では、通販での注文もふえているそうです。

田山セールズドライバー(SD)は、

このエリアを担当して2年。

相馬さんとはすっかり顔なじみです。

土づくりから始まり、丹精込めて育てられたお米。

「おいしく食べてほしい」という

相馬さんの気持ちも受け取って、

またその思いをしっかりと守るために。

梱包、積み方、運び方に十分注意しながら、

全国へと届けていきます。

『田山くんが来てくれるとうれしい』

そう言ってもらえたことがあって」と照れながら語る田山SD。

お客さま一人ひとり、ご要望も、お困り事も違います。

次の出荷はいつになりそうか。伺うのはいつがベストか。

会話から察して、自分にできることを見つけていく。

そこには、ビジネスのパートナーであり続けるために、

日々行動するセールズドライバーがいます。

地域のおいしさを、もっと多くの人へ。

そう願う全国の生産者のみなさまを、

私たちクロネコヤマトはサポートしていきます。

2019年。

私たちが届ける仕事を始めて、100年になります。

これからも、お客さまとの「接点」を大切に。

そして、時代に合ったサービスで、

お客さまのニーズに一層応えていきます。

夕方からの配達を担う「アンカーキャスト」を迎え、

お届けする力をふやしていくことも、その一つです。

地域に密着し、小さな声にも気がついて。

会社としても、個人としても、選ばれる存在となれるように。

今日も、クロネコヤマトは新年を迎えたあなたのまちへ。

あなたじゃないと困る。
その言葉が宝物。



ヤマト運輸